



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
E-mail:sato.juichi.v7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No. 54 (2026. 6) 本号の編集担当者 三浦太郎

【支部情報】

予定

- 1) 『総合診療専攻医オリエンテーション*2026』
2026年5月16日(土) ZOOMによるオンライン開催
- 2) 『第15回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』
2026年11月29日(日) 会場：静岡県内
- 3) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2027』
2027年3月13日(土) ZOOMによるオンライン開催

【活動報告】

★看護師部会★

1)中部ブロック看護師部会が設立されました。／中部ブロック看護師部会 (3月14日)

<設立の背景>

日本プライマリ・ケア連合学会看護師部会のブロック活動支援部門中部支部では、地域の実情を踏まえ、現場の視点に立った看護職の活動支援が求められています。さらに、日々の実践に活かせる学びの機会の提供や、多職種連携の推進を通じて、地域におけるプライマリ・ケア看護の質の向上に寄与することが期待されています。

こうした背景を踏まえ、中部ブロックにおける看護師同士の交流と学びの機会を充実させ、地域に根ざしたプライマリ・ケア看護の発展に貢献することを目的として、中部ブロック看護師部会を設立しました。

<中部ブロック看護師部会 役員・活動員>

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 看護師部会
ブロック活動支援部門 (中部ブロック支部)

部会長 三倉祐美子 静岡県 /副部会長 田中亜紀子 静岡県 /副部会長 宮本由香里 石川県
活動員 浅場 香 静岡県 /活動員 萩原 四季 石川県

2)京都学術大会で第1回目の交流会を開催しました。／中部ブロック看護師部会 (5月30日)

交流会の案内を行ったところ、各県から多くの方にご参加いただきました。

<内容>

- ① 中部ブロック看護師支部の今後の活動について
・第15回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会の案内
・活動員参加へのお願い

今後は交流の場をさらに広げ、看護師のみならず多職種との連携・交流を深めることで、地域に根ざしたプライマリ・ケア看護の発展につなげていきたいと考えています。

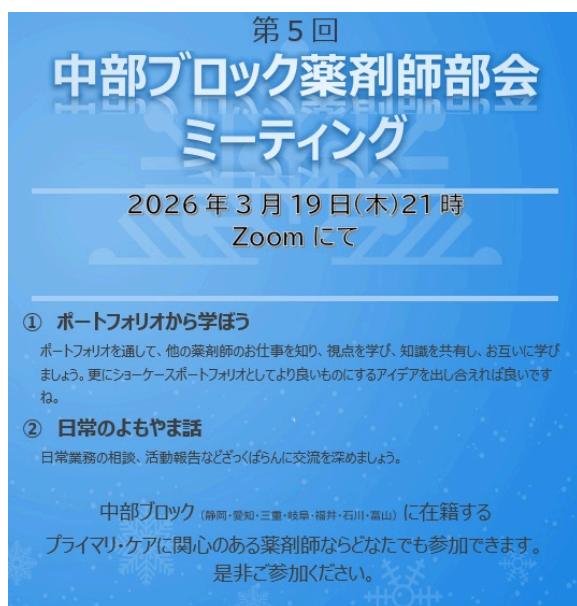


★薬剤師部会★

【活動報告と案内】

第5回中部ブロック薬剤師部会ミーティング

日時：2026年3月19日（木）21:00～ 13人参加



第5回
**中部ブロック薬剤師部会
ミーティング**
2026年3月19日(木)21時
Zoomにて

① **ポートフォリオから学ぼう**
ポートフォリオを通して、他の薬剤師のお仕事を知り、視点を学び、知識を共有し、お互いに学びましょう。更にショーケースポートフォリオとしてより良いものにするアイデアを出し合えれば良いですね。

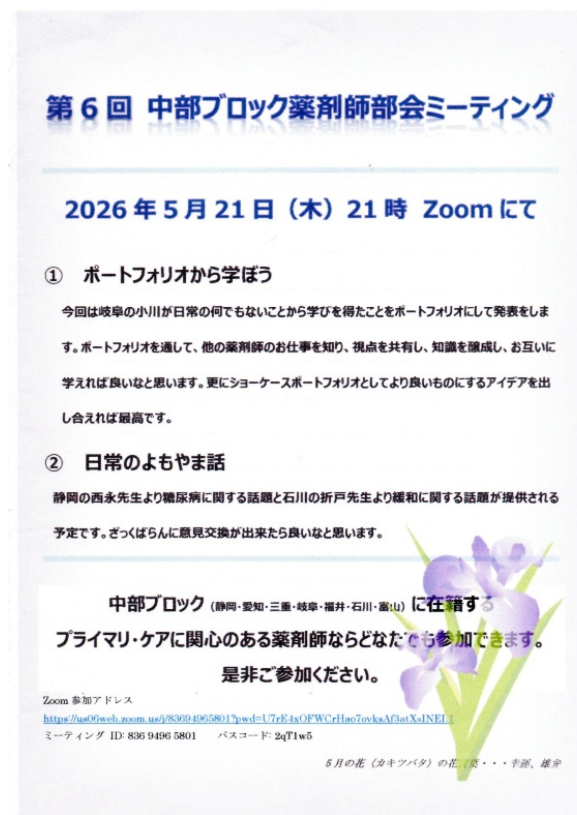
② **日常のよもやま話**
日常業務の相談、活動報告などざっくばらんに交流を深めましょう。

中部ブロック（静岡・愛知・三重・岐阜・福井・石川・富山）に在籍する
プライマリ・ケアに関心のある薬剤師ならどなたでも参加できます。
是非ご参加ください。



第6回中部ブロック薬剤師部会ミーティング

日時：2026年5月21日（木）21:00～ 13人参加



第6回 中部ブロック薬剤師部会ミーティング
2026年5月21日（木）21時 Zoomにて

① **ポートフォリオから学ぼう**
今回は岐阜の小川が日常の何でもないことから学びを得たことをポートフォリオにて発表をします。ポートフォリオを通して、他の薬剤師のお仕事を知り、視点を共有し、知識を醸成し、お互いに学えれば良いと思います。更にショーケースポートフォリオとしてより良いものにするアイデアを出し合えれば最高です。

② **日常のよもやま話**
静岡の西永先生より糖尿病に関する話題と石川の折戸先生より緩和に関する話題が提供される予定です。ざっくばらんに意見交換が出来たら良いと思います。

中部ブロック（静岡・愛知・三重・岐阜・福井・石川・富山）に在籍する
プライマリ・ケアに関心のある薬剤師ならどなたでも参加できます。
是非ご参加ください。

Zoom 参加アドレス
<https://us01web.zoom.us/j/83694965801?pwd=U7RlZkx0PWVrHm07ZkksAGl4XzlnZkl1>
ミーティング ID: 836 9496 5801 バスコード: 2qT1w6

8月の花（カキツバタ）の花言葉・・・辛抱、謙卑



第17回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（JPCA2026 京都）の機会に

「中部ブロック薬剤師部会」としての懇親会を開催（次号掲載予定）

日時：2026年5月30日（土）夜

第7回中部ブロック薬剤師部会ミーティング

日時：2026年7月（予定）

【メールリングリストの開始】

中部ブロックに居住する JPCA 会員の中で薬剤師と薬学生を対象としたメールリングリストによるメール配信が2026年3月から開始しました。

見に行かなくてもミーティングなどの情報が届く体制が整った形です。

尚、世話人会で共有するメールアドレスも併せて作成しました。

何かありましたら、こちらをご利用いただくと幸いです。

jpca.chubu.sewanin.ph@gmail.com

【JPCA 中部ブロック薬剤師部会の LINE オープンチャット開始】

「JPCA 学術大会 2026 中部ブロック薬剤師」として開設、今後も活用していこうと「JPCA 中部ブロック薬剤師部会」とトークルーム名を変更しました。

以下、開設時の「ご案内とルール」です。お気軽にご参加ください。

本オープンチャットのご案内とルール

学会期間中の円滑なコミュニケーションや、急な予定変更の共有、参加者同士の交流のために開設しました。

「誰もが安心して過ごせる場所」として運用するため、以下のルールをご確認ください。

プロフィール設定

参加名は、以下の形式への変更をお願いします。

名前・地域（例：山田・石川）

※どなたからの発信が分かりやすくするため、ご協力をお願いします。

まず、簡単な自己紹介を添えてご挨拶いただくと助かります。

連絡取り合い・待ち合わせのルール

個人情報の保護：チャット内で電話番号や SNS アカウントを直接公開することは控えてください。

連絡先の交換：待ち合わせ場所などを本チャットで相談し、実際の連絡先交換は対面で行うようにしてください。

安心・安全な運用のために

誹謗中傷の禁止：相手を尊重し、建設的なやり取りを心がけてください。他者への攻撃的な発言や、不快にさせる投稿は厳禁です。

マナー：学会という公共の場にふさわしい、良識ある交流をお願いします。

主な活用シーン

懇親会やランチの呼びかけ、場所のお知らせ

プログラムの急な変更や、運営からのアナウンス

「今、〇〇のセッションにいます」といった共有

備考

通知が多いと感じる場合は、トーク画面右上のメニューより「通知オフ」の設定をお願いします。

皆様にとって有意義な出会いと学びの場になりますように。よろしくお願いいたします！



【JPCA2026 京都にてフライヤー作成】

JPCA 薬剤師部会 学生・若手育成グループ主催のイベントで中部ブロック薬剤師部会を紹介するフライヤーを作成しました。

今の活動がよくわかる1枚となりました。

(文責：世話人一同)

★静岡県支部★

1) 藤枝市家庭医療センター（藤枝みんなのクリニック）開院

2026年4月1日に藤枝市家庭医療センター（藤枝みんなのクリニック）が開院しました！

2011年に開院した菊川市家庭医療センター、森町家庭医療クリニック、及び2017年に開院した御前崎市家庭医療センターに続いて、しずおか総診（浜松医科大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム）では4つ目の教育診療所となります。「藤枝みんなのクリニック」という愛称は公募の中から決まり、「子供からお年寄りまで全ての人が対象の医療機関だということがわかりやすいように」という想いでつけていただきました。

外来患者、訪問診療患者もゆっくりと増えてきており、総合診療/家庭医療の研修環境として徐々に整ってきております。藤枝サイト所属の専攻医も誕生しておりますが、彼らは「藤枝で学べるなら」とのことで総合診療/家庭医療の世界に飛び込んできてくれました。総合診療/家庭医療の仲間を増やすことに貢献できて嬉しい限りです。

今後も総合診療/家庭医療を学べる環境が中部ブロック内でさらに広まっていくことを祈念しつつ、藤枝も他サイト同様に「成功事例」の一つとなれるように精進して参ります。



2) しずおか総診（浜松医科大学総合診療専門研修プログラム）病院総合医コース始動

しずおか総診では、令和8年度より「病院総合医コース」がスタートしました。

これまでの家庭医養成に加え、今後は病院セッティングで活躍する総合診療医の育成にも、より力を入れて取り組んでまいります。

また、こうした研修の広がりにあわせ、プログラムの通称も「静岡家庭医養成プログラム」から「しずおか総診」へ変更いたしました。

本コースは、地域医療を支えながら、病院セッティングでの総合診療研修に重点を置いた研修コースです。急性期から慢性期、多疾患併存、救急、在宅医療まで幅広く学び、地域の中核病院で活躍できる総合診療医の育成を目指しています。

今後も地域に根ざした総合診療教育に取り組んでまいります。

ご関心のある方は、ぜひHPよりお気軽にご連絡ください。

<https://www.shizuoka-fm.org/>

3) 専攻医の修了と新たな仲間を迎えて／菊川市家庭医療センター

菊川市家庭医療センターで4年間研修を行っていた専攻医1名が、令和8年3月末をもってしずおか総診（浜松医科大学総合診療専門研修プログラム）での研修を修了いたしました。現在は岩手県の病院の総合診療科に勤務しながら、総合診療専門医試験に向けて研鑽を積んでおります。当院スタッフ一同、修了は寂しく感じていますが、当院で培った経験を活かし、新たな地域でのご活躍を心より応援しております。

また、令和8年4月から当院には新たに専攻医2名が加わりました。2名とも意欲的に診療に取り組んでおり、スタッフ一同、今後の成長を大変楽しみにしております。

なお、しずおか総診全体としても、今年度は6名の新専攻医を迎え、加えて他プログラムから新たに1名が移籍し、新しい仲間として加わりました。プログラム全体としても新たな活気に満ちた一年がスタートしています。

菊川市家庭医療センターでは、総合診療専門医／新・家庭医療専門医の教育診療所として、これからも安心して学び成長できる研修環境づくりに努め、質の高い総合診療医の育成に取り組んでまいります。



★福井県支部★

1) 2026年4月25日 こしょべん（初期研修医勉強会）を開催しました

年に10回 初期研修医向け勉強会である「こしょべん」を開催しています。10年以上継続して開催しており、特徴は「実習がメインの勉強会」であることです。講義20分と実習40分の合計1時間です。超音波検査実習や栄養剤の試飲会、被ばく医療など毎回内容は異なり、今年度最初の「こしょべん」は「シーネ巻き巻き大会！」でした。シーネ固定方法だけでなく、三角巾固定、松葉杖の調整も行いました。長期連休であるゴールデンウィーク前に骨折に対する手技を確認・復習することができました。来月以降も引き続き開催予定です。



2) みんなでつくるみんなの居場所。まちなか健康拠点「みんなの家」開設

地域総出の健康まちづくりモデルを目指す福井県高浜町では、令和8年4月、まちなか健康拠点「みんなの家・高浜本町」を高浜町本町区に開設しました。

本施設は、暮らしの保健室、保健・介護予防の一体化事業、地域包括支援センターブランチ、包括的支援体制整備（地域共生社会構築）、空き家対策の各事業を包括的に展開するものです。開館時は健康関係専門職がスタッフとして在籍し、健康相談を受けられます。地域住民は各々思い思いの過ごし方で自由に利用でき、必要な物品も地域からの寄付・譲渡で用意します。健康情報の発信や健康・つながりの担い手育成も行っていく予定です。

<https://youtu.be/LhgvZhGEHIs>



★三重県支部★

【活動報告】

1) 第1回レジデントデイ

○日時：2026年3月26日（木）15:00-18:00

○場所：三重大学医学部内講義室

2ヶ月に1回、専攻医全員が三重大学に集まり、三重総診レジデントデイを実施しています。

2026年度最後のレジデントデイは、専攻医8名+指導医が参加しました。

ビデオレビュー、ケースディスカッションとも1年目の専攻医が発表し、指導医・先輩専攻医から意見をいただくことができ、学びの多い勉強会となりました。

2) 地域救急ワークショップ 開催

○日時：2026年5月15日（金）13:00-16:00

○場所：三重大学医学部内

総合診療医の重要な能力の1つに救急患者への対応が挙げられる。LICおよび総合診療科で研修中の学生・研修医を対象に、救急患者症例への初期対応をシミュレーションし到達度の確認と知識の整理を行って、学生・研修医各々のスキルアップ、および今後の実習や研修に生かすことを目的にワークショップを開催した。

導入レクチャーののち、リーダー医師役、研修医役、看護師役に役割分担し、1人1症例ずつリーダー医師

役を担当した。症例は窒息、緊張性気胸による閉塞性ショック、胃潰瘍による出血性ショック、橋梗塞、急性心筋梗塞による心原性ショックの5症例を取り挙げた。1症例毎に学生が何を考え、実践したのかを振り返り、より良い対応を可能にするために知識の確認を行なった。開始時は刻一刻と状態が変化する患者を前にして戸惑いが見られたが、症例を重ねるごとに救急医療のABCアプローチが確立されていき、チーム内での役割分担も明確化し、スムーズな診療ができるようになった。



3) MieGP12 キックオフミーティング

○日時：2026年5月19日（火）16:30から

○場所：三重大学医学部内

地域医療・総合診療に関心のある三重大学医学科1年生8名が新たに加わり、医学生・初期研修医・指導医が一丸となって今年度の活動を開始いたしました。今後は、定期ミーティング、地域医療見学、スキルセミナーなどを予定しています。



【予定】

1) 第2回レジデントデイ

○日時：2026年5月28日（木）15:00-18:00

○場所：三重大学医学部内講義室

2) MieGP12 定期ミーティング

○日時：2026年6月16日（火）18:30-

○場所：三重大学医学部内講義日

○内容：(仮) 行動科学のABC

★岐阜県支部★

【活動報告】

1) 2026年度第1回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2026年4月15日（水）20:00～21:00

場所：オンライン開催

参加：岐阜県内の総合診療専攻医2名・専門医2名、指導医3名、計7名

内容：今年度の教育体制や初期研修医と専攻医に向けた勉強会の内容や方向性の相談をオンラインで行いました。

【今後の予定】

1) GPCOMERnet2026

日時：2026年6月6日（土）14:30～

場所：市立恵那病院

主催：地域医療振興協会岐阜支部

講演：自治医科大学公衆衛生学 教授 阿江竜介先生「地域で研究を行うためのポイント」

2) 2026年度第2回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2026年6月10日（水）20:00～21:00

場所：オンライン開催

3) 第4回岐阜県総合診療専門研修プログラム指導者講習会

日時：2026年7月11日（土）14:00～16:30

場所：関中央病院

内容：岐阜県の総合診療医の教育・リクルートに関するワークショップ

★石川県支部★

【活動報告】

1) 総合診療 Spring セミナー

日時：2026年5月2日（土）10:00～13:00

場所：城北病院（石川県金沢市）

参加：総合診療や地域医療に関心のある石川県内の医師および医学生

内容：石川県内で活躍されている総合診療専門医・華岡晃生先生（金沢大学附属病院総合診療共創センター特任助教）による『人を、みる。～奥能登から学ぶ総合診療』の講演などを中心とした総合診療/地域医療のセミナーです。

以下、華岡先生のコメントです。

城北病院 spring セミナーでは「人を、みる。」をテーマに、奥能登の穴水での総合診療の実践をお話しさせていただきました。基本的臨床能力を磨くことは大前提です。その上で最も伝えたかったことは、病いを治すという行為

は人と人との関係性の中にあるということ。そして、患者さん一人ひとりだけでなく、土地や建築物、アートや祭りといった人間の営み全体に興味を持つこと。その関心が医師としての眼を豊かにしてくれます。これまでの患者さんたちが教えてくれたことです。



2026 城北病院
総合診療
Springセミナー
能登を観て、人を診る

地域の総合診療医は風邪や生活習慣病から心の悩みまで、あらゆる健康問題を総合的に診る医師です。診断のプロセスから患者さんとの関わり方まで、地域の最前線で求められる総合診療医・家庭医の役割と魅力を、現場で活躍する医師とともに学びます。

日時	5月2日(土) 10:00-13:00
対象	医学生 新入生・2~6年生 1~3年10名・4~6年10名 定員あり。お申し込みはお早めに。
会場	城北病院 金沢市東町20-3

お弁当つき
参加費無料

プログラム

第1部
奥能登から学ぶ総合診療-全人的医療のかたち-
ゲスト講師 華岡兎生 氏
金沢大学附属病院 総合診療共創センター特任助教

第2部
1~3年 解剖学から学ぶ身体診察
4~6年 臨床推論

■病気だけでなく「人を診る」とはということか。総合診療に興味のある方もこの機会に知りたい方も、新1年生から6年生までどなたでもご参加いただけます。
■第1部では患者さんや地域に真摯に向き合う総合診療の魅力を知り、第2部は学年別に分かれ身体診察や臨床推論を実践的に学ぶ参加型のプログラムです。低学年や知識のない方でも安心して参加できます。

【報告事項】

特になし

【今後の予定】

特になし

★富山支部★

■第17回 JPCA 学術大会報告（真生会富山病院）

佐々木医師が、教育講演を行いました。演題は「貴方の電子カルテ端末で AI を 仮想ブラウザの導入と応用」。仮想ブラウザによる安全な AI 活用の仕組みと実臨床への応用を紹介し、導入ステップも具体的に解説しました。生成 AI 時代におけるプライマリケア医のあり方についてはフロア・オンライン合わせて多数のご質問を頂きました。運営の皆様へ感謝申し上げます。

■第 17 回 JPCA 学術大会報告（富山大学総合診療科とむじぇり）

大学プログラムの専攻医・指導医、指導を受けた研修医により約 22 件の演題発表・講演を行いました。その他ファシリテーターや座長、審査員など様々な立場でとむじぇりの活躍が益々広がっています。

■北陸総合診療の懇親会

第 17 回 JPCA 学術大会期間の夜に初めて北陸 3 県の総合診療関係者が集まり懇親会を開催しました。鴨川の川床レストランを貸し切り、涼を満喫しながら、県を超えた交流が広がる有意義な会となりました。

■中部ブロックポートフォリオ発表会

3 月 14 日に中部ブロックポートフォリオ発表会が開催されました。富山からは 2 名の専攻医の先生がポートフォリオを発表され、石川医師が審査員特別賞を受賞しました。発表会では、他プログラムの指導医の先生方からも多くのご指導をいただき、今後のポートフォリオ作成に向けて大変貴重な学びの機会となりました。

■中部ブロック支部専攻医オリエンテーション

専攻医オリエンテーションのポートフォリオの書き方に、高瀬医師、近藤助教が講師担当として参加しました。セッションでは、オンラインのグループワークが行われ、中部ブロックの専攻医が他のプログラム指導医との振り返りを経験することができました。

■とむじぇり専攻医歓迎会

40 人を超える参加者が太閤山ランドに集まり、バーベキューで楽しく親睦を深めました。新たなメンバーを迎え、とむじぇりみんなでワクワク成長していきます！



■JPCA 令和 7 年度優秀査読者賞（和文誌）

日本プライマリ・ケア連合学会の和文誌での査読への近藤助教の貢献が認められて、令和 7 年度優秀査読者賞（和文誌）を受賞されました。

■医学部生が選ぶベスト診療科ダブル受賞

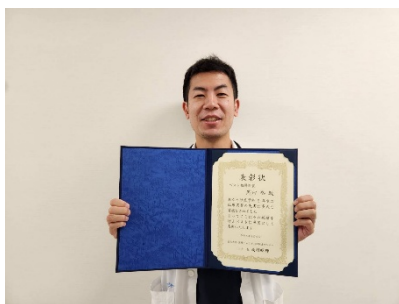
2025 年度の富山大学医学部生が選ぶベスト診療科で、総合診療科が 5 年生・6 年生でダブル受賞をいただくことができました！

富山大学総合診療科では、医師に必要な臨床の基礎であるジェネラリズムを学生実習を通して習得できるよう取り組んでおり、5 年生の BSL 学生実習では、外来での問診・身体診察の基礎に加え、アセスメントやプランの組み立て、6 年生の選択アドバンス学生実習では、外来診療をさらに深めながら、病棟管理においても実践的に学ぶ機会を設けています。

■医学部生が選ぶベスト指導医受賞

富山大学総合診療科の黒田格先生が、2025 年度富山大学医学部 6 年生が選ぶベスト指導医に選出されました！黒田格先生の親しみやすい人柄と、豊富な臨床知識に基づき医学生とともに診療に取り組む姿勢が高く評価されました。





■ 今後の予定

6月30日(火)18時30分-19時30分に、富山大学附属病院総合診療・家庭医療専攻研修プログラム(とむじぇり)のプログラム説明会を開催します。

現地とオンラインのハイブリッドで開催しますので、富山で総合診療を学びたい、実践したいという方は以下のフォームからお気軽にお申し込みください。

<https://forms.gle/Me4PgWtoEysW2Wt38>



<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口

三重県；山本憲彦、富山県；三浦太郎、石川県；中橋毅、岐阜県；森田浩之、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子、愛知県；佐藤寿一

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大浦誠

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください

中部ブロック支部事務局 gm.sec1@med.nagoya-cu.ac.jp